



生物多様性をめぐる世界の動きと日本企業 ～事業経営と緑地管理・生物多様性モニタリング～

日時：2023年
2月14日(火)
午後1:30～4:30
オンライン(ZOOM)

2022年12月の生物多様性条約締約国会議(COP15)を期に、企業の事業経営環境は大きく急速に変わっていく見通しです。生物多様性保全活動が経済的に評価され、ビジネスに直結する時代の到来です。そして、緑地管理のあり方やその他生物多様性保全活動が、企業にとって重要性を増すと考えられます。

環境省の担当者、そして滋賀県内の企業・団体の方々をお招きして、これからの事業経営のあり方を考えます。

お手元のPC、スマホから、ぜひお気軽にご参加ください。

開催形態

オンラインセミナー(ZOOM利用) **定員** 70名

※参加者には2/13(月)中にURLをメールで連絡予定

参加費

SGN会員・GPプラン滋賀登録者・学生:無料/一般:1000円

※会員企業・団体からは、何人参加されても無料です。

主催

(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク 生物多様性と環境・CSR研究会

後援

滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

セミナー申込み



プログラム

基調講演「生物多様性をめぐる国内外の動きとビジネスへの主流化
～自然共生サイト(仮称)認定を通じた民間取組の促進～」

環境省 自然環境局 自然環境計画課 企画係長

環境省 自然環境局 生物多様性主流化室

橋口 峻也 氏

楊木 萌 氏

事例報告1「工場緑地の保全・管理を通じた地域生態系への貢献
～パナソニック株式会社 草津工場の取り組み～」

パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社 総務部 施設環境課 環境管理係 主務

中野 隆弘 氏

事例報告2「積水樹脂(株)滋賀工場 生物多様性保全活動」

積水樹脂株式会社 生産技術部 安全・品質・環境グループ

稲垣 和美 氏

事例報告3「蒲生野考現倶楽部の生物多様性保全活動について
～モニタリングサイト1000里地調査活動を通して～」

NPO法人 蒲生野考現倶楽部 副理事長

野田 晃弘 氏

質疑応答・ディスカッション

コーディネーター:京都産業大学 経営学部 准教授・SGN運営委員

宮永 健太郎

お申込み方法 下記URLまたは右上の二次元コードから、「申込フォーム」よりお申込みください。

※一般の方は、申込後、2/10(金)までに「参加費1000円」をお振込みください。

振込先: 滋賀銀行 県庁支店 普通 506188 シヤ)シガグリーンカサドウネットワーク

締切 2月12日(日)

<https://forms.gle/DEeFz88PirrD7F9Y9>





橋口 峻也 氏

環境省 自然環境局 自然環境計画課

橋口 峻也 (はしぐち しゅんや) 氏

環境省入省後、九州地方環境事務所、大雪山国立公園（北海道）等での勤務を経て、2021年4月から現職。大阪生まれ・京都市育ち。学生時代には、自転車での琵琶湖一周を経験。

楊木 萌 (やなぎ もえ) 氏

環境省入省後、外来生物対策室、大山隠岐国立公園（島根）等での勤務を経て、2022年10月から現職。北海道生まれ・静岡育ち。

パナソニック株式会社 草津工場

パナソニック株式会社草津工場では、2011年より地域の生態系に貢献する工場緑地の保全・管理を行っています。保全にあたっては、工場の環境施設としての機能を維持しつつ、地域の里山林の環境をモデルとし、緑地内で発芽した実生苗を利用するなどの工夫で、身近な生きものが将来にわたって生育、生息できる環境の創出を目指しました。管理にあたっては、人の利用による二次的環境である里山林の成り立ちに着目し、草刈りと自然循環を軸としたシンプルな管理を実践しています。また、取り組みを通して得た気づきを小学生向け環境学習プログラムにまとめ展開する活動も行っています。



共存の森

積水樹脂株式会社 滋賀工場



積水樹脂 道夢道

積水樹脂滋賀工場には、土地開発などにより激減しています貧栄養湿地が多数残存しています。この貴重な自然環境を守るため、保全エリアにおいては除草剤や化学肥料は使わない、いきものの活動期を避けるなど生態系に考慮した除草など、基本的な保全を継続することが重要だと考えています。また、近隣の企業と連携し、環境指標種であるトンボをテーマに生物多様性の保全活動を行っています。滋賀県には約100種のトンボが確認されていますが、そのうち55種のトンボが滋賀工場で確認されました。その環境を利用し、従業員の家族や地域の子どもたちに、身近な生きものに関心をもってもらうきっかけづくりとして観察会を開催しています。

NPO 法人 蒲生野考現倶楽部(がもうのこうげんくらぶ)

私達は、2008年度から環境省のモニタリングサイト1000里地調査活動に参加し、これまで日野町の川原地区、次いで奥之池地区、そして東近江市稲垂町の積水樹脂（株）様の物流センター事業所内に位置する稲垂湿地にて、5年単位で順次調査を実施し、各調査地で様々な希少動植物の存在を確認してきました。地元や管理者の方々にも調査に参加頂き、また調査結果をフィードバックすることで、地元の自然環境の魅力と保全の重要性について、啓発・理解につなげてきました。例えば、稲垂湿地では、積水樹脂（株）様と地元集落の方々により獣害防止柵が設置された結果、イノシシの侵入がなくなり、希少動植物の回復を確認することができました。



しゃくなげ学校



◆OECMとは(定義)◆

Other Effective area based Conservation Measures(その他の効果的な地域をベースとする手段)の頭文字で、国や自治体が定めた保護地域ではないが、生物多様性を効果的、長期的に保全できる場所を指し、民有地である農地山林なども含まれます。



宮永 健太郎 (みやなが けんたろう)

京都産業大学 経営学部 准教授

(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク 運営委員。同 生物多様性と環境・CSR 研究会メンバー。

問合せ先



一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク (SGN) 事務局

〒520-0807 大津市松本 1-2-1 大津合同庁舎 6 階

【TEL】077-510-3585 【FAX】077-510-3586

【Email】sgpn@oregano.ocn.ne.jp



SGN ホームページ